



平成30年度 森林税活用事業

実施状況説明資料

令和元年6月26日

長野県上田地域振興局 林務課



防災・減災のための里山等の整備事業

里山整備方針作成事業 …… 1～8

県民協働による里山の整備・利用事業

里山整備利用地域認定状況 …… 9～18

普及啓発活動事例 …… 19～20

③ 平成31年3月以降の取組状況 …… 21～22
(前回(2/28)の地域会議以降の状況を追加しました)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業

「こどもの居場所」木質空間整備事業 …… 23～25

木工体験活動支援事業 …… 26

・科学的知見を用いて防災・減災の観点からの整備の必要性が高い森林の整備を実施。

[災害の起こりやすさ]

山腹崩壊危険度
(地質・傾斜等で分類)

+

[県民生活への影響度]

保全対象との位置関係
(集落等からの距離で分類)

+

[森林整備の緊急度]

森林管理の状態
(森林の混み具合)

=

優先整備箇所

航空レーザ測量

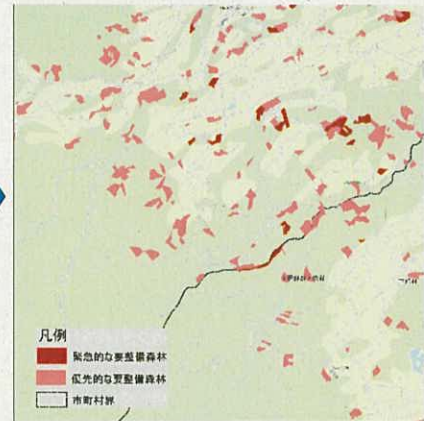


航空レーザ測量イメージ図
(アジア航測(株)提供資料)

解析



優先整備箇所の提示



現地調査等を実施して
優先整備箇所の追加が可能

市町村長が里山整備方針を作成
優先整備箇所の「見える化」

里山整備方針の作成手順

県が航空レーザ測量等による優先整備箇所候補のデータを市町村に提供し、現地調査等を実施のうえ市町村が優先整備箇所を決定



整備の必要性の点検

- ・現地調査
- ・事業者との調整
- ・地域の聞き取り



里山整備方針から除外

- ・整備済み
- ・データの錯誤等 (整備不要)
- ・実行困難地 (係争地等)

「優先整備箇所」に決定

- ・候補箇所その周辺

「優先整備箇所」に追加

- ・市町村地域防災計画
- ・既往の災害発生箇所 等

上田地域での里山整備方針作成事業

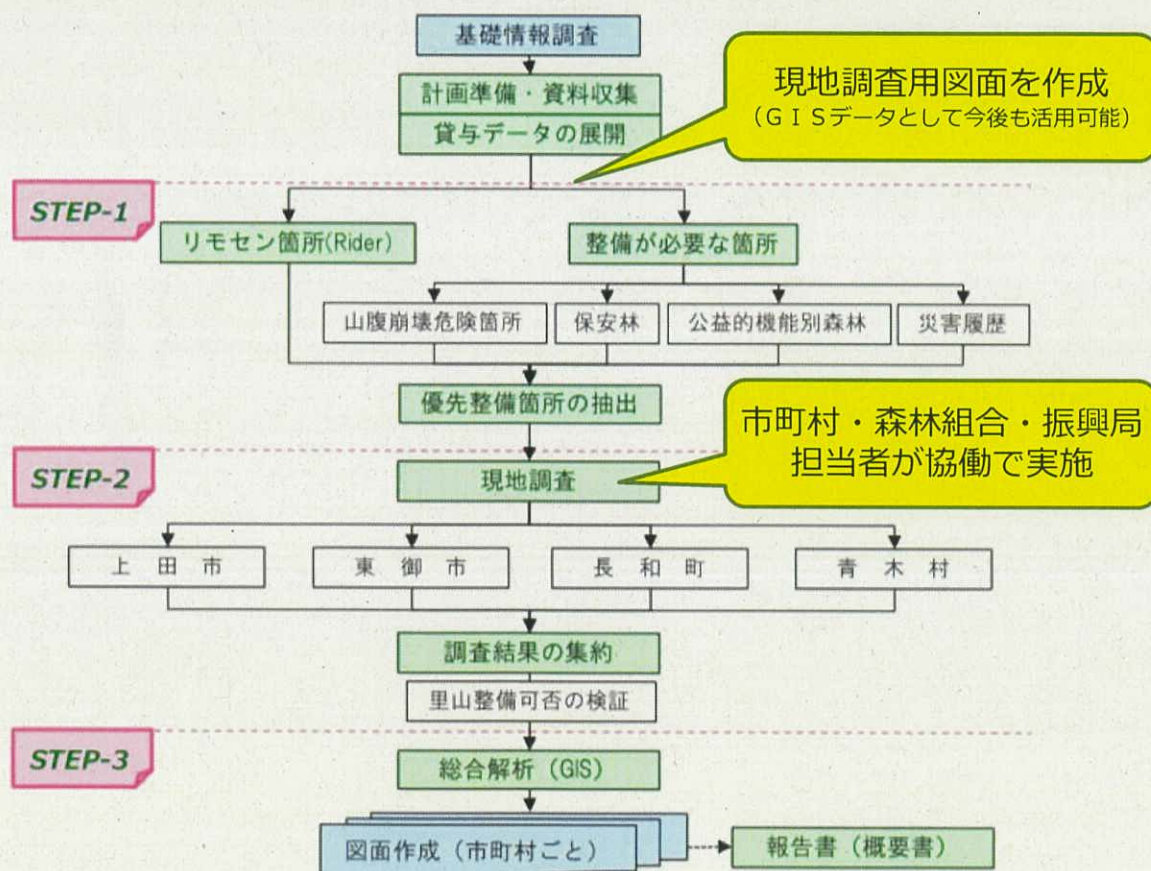
3

各市町村との連携の下、上小林业振興会が事業主体となって
効率的・統一的に凶化等の事業を実施

区分	事業内容	実施方法	
		振興会	市町村
(1) 優先整備箇所の確認、抽出	航空レーザ測量等により県が抽出した森林や災害履歴のある森林等の優先的に整備を実施すべき森林を抽出	外部委託	(情報提供)
(2) 過去の災害履歴等の情報収集			
(3) 現地調査	抽出された森林について、現地調査及び地域の聞き取り等により整備の可否等を検討	打合せ会議	
(4) 地域の聞き取り		連携して実施 (森林組合含む)	
(5) 図面作成	現地調査結果に基づき、優先的に整備していく箇所を「見える化」	外部委託	-
(6) 方針作成・公表	各市町村において、地区ごとの里山整備方針を作成し、HP等で公表	成果品提供	各市町村が実施
(7) 運用	森林税活用事業等による里山整備の推進及び方針の変更等を実施	-	

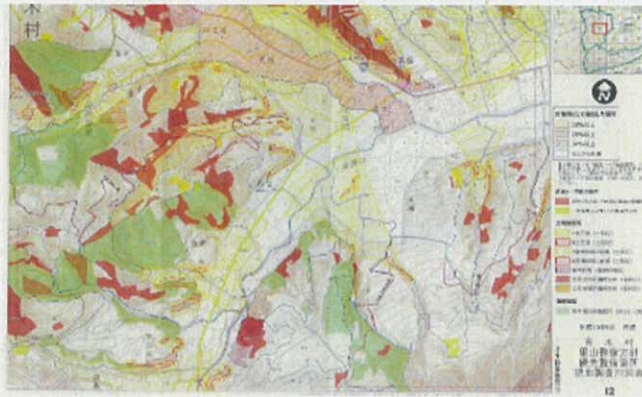
上田地域における優先整備箇所の選定方法

4



- ① 県から提供した優先整備箇所のデータのほか、法規制箇所、施業履歴、森林路網等を明記した現地調査用の図面を作成

⑤



- ② ①の図面をもとに、市町村、森林組合、地域振興局の担当で優先整備箇所選定のための打合せを実施



G I S や空中写真等も活用



- ③ ②の打合せ結果を踏まえ、協働で現地調査を実施

⑥



- ④ 森林の現況や路網の整備状況等を確認し、間伐等の森林整備の緊急性・実行可能性の両面から施業方針を検討



- ⑤ 検討結果に基づき、優先整備箇所を決定、図面を整備し、各市町村で整備里山整備方針を作成

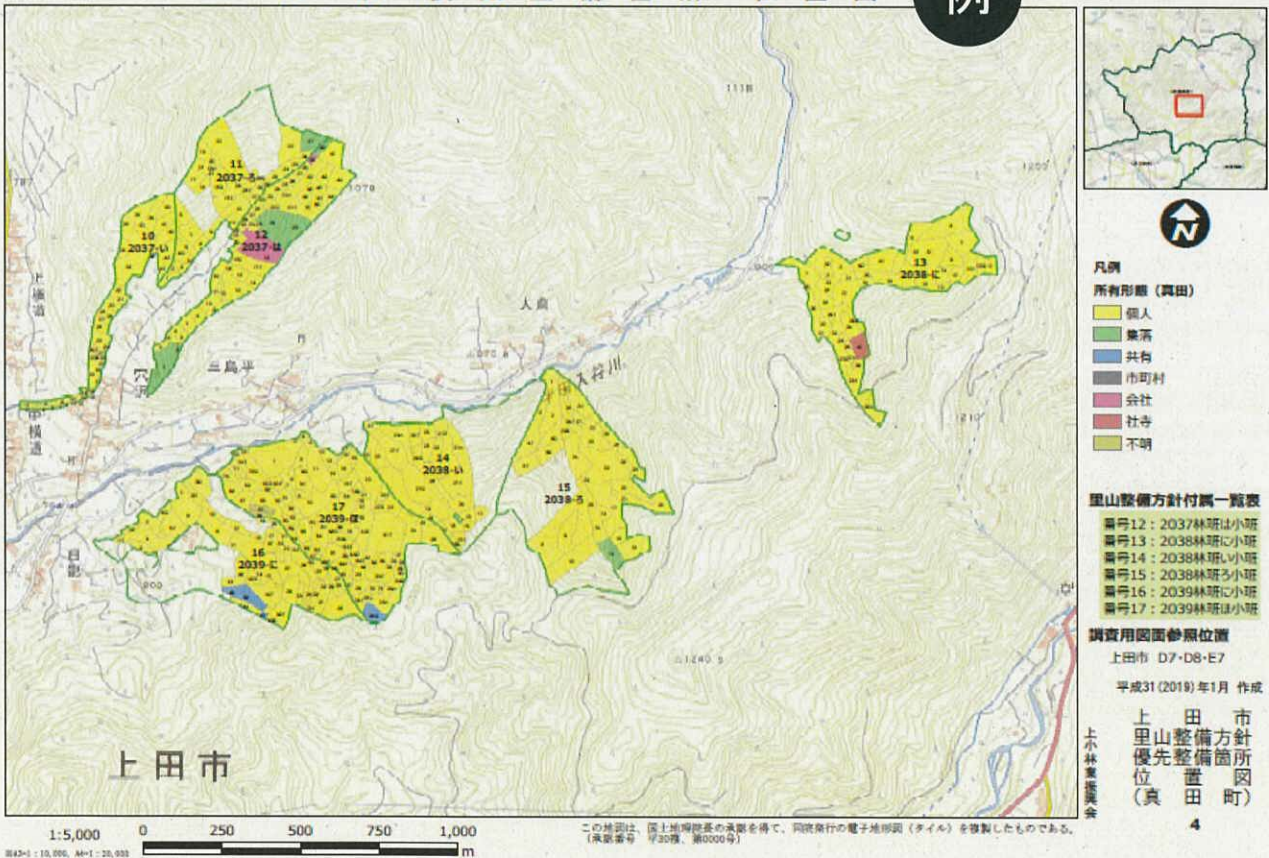
里山整備方針における市町村別面積等一覧

(平成31年(2019年)2月現在)

市町村	地区名 (旧市町村)	防災・減災のための 里山整備事業対象地		里山整備利用地域		
		優先整備 箇所数 (小班数)	面積 (ha)	認定 地域数	区域面積 (ha)	地域名
上田市	上田市	8	149			
	丸子町	1	22	2	698	霊泉寺温泉、飯沼
	真田町	19	176			
	武石村	3	21			
	計	31	368	2	698	
東御市	北御牧村	7	71			
	東部町	6	54			
	計	13	125	0	0	
長和町	長門町	16	126			
	和田村	7	70			
	計	23	196	0	0	
青木村		14	136			
上田地域合計		81	825	2	698	

上田市優先整備箇所位置図

例



里山整備利用地域制度の活用（県民協働による里山の整備・利用）

【里山整備利用地域】

- ・地域住民等が自発的な活動をしようとする里山を、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づき、市町村長の申出により県知事が地域認定
- ・地域住民等は、地域協議会を立ち上げ
- ・県は、自立的・持続的な活動に向けた支援を実施（教育、観光、福祉等多様な分野との連携を促進）
- ・地域協議会に参画している森林組合等による効率的な森林整備も可能



地域協議会による活動



里山資源の利活用



里山を活用した教育



【必要な人材の育成と活用】

【県事業】

里山整備利用地域リーダー育成事業

リーダーの育成

地域協議会への参画
コーディネート等

リーダーの紹介・
派遣

地域住民や利活用主体
(移住者、障がい者、教育
関係者等)への技術指導

【活動の流れ(例)と支援メニュー】



里山整備利用地域の推進体制と認定のながれ

里山整備利用推進協議会

地域の実情に応じ、森林所有者や地域住民、市町村、関係団体、企業、ボランティア、教育機関などを構成員とした「里山整備利用推進協議会」を組織

里山整備利用協定

森林所有者と里山利用者による里山利用協定を締結し、里山の利活用を促進

里山の整備利用活動の推進

里山整備利用推進協議会

認定申出の際の計画作成への参加や意見の提出

里山利用協定締結への協力

その他里山の整備利用に関する協議

想定される構成員：地域住民、森林所有者、林業関係団体、教育関係機関、企業、ボランティア等（地域の状況に応じて決定）

【認定のながれ】

里山整備利用推進協議会の意見聴取
候補地選定、事前調査、
地元・森林所有者との調整等
(市町村長)

認定の申出

(市町村長→知事)

認定の審査

(知事)

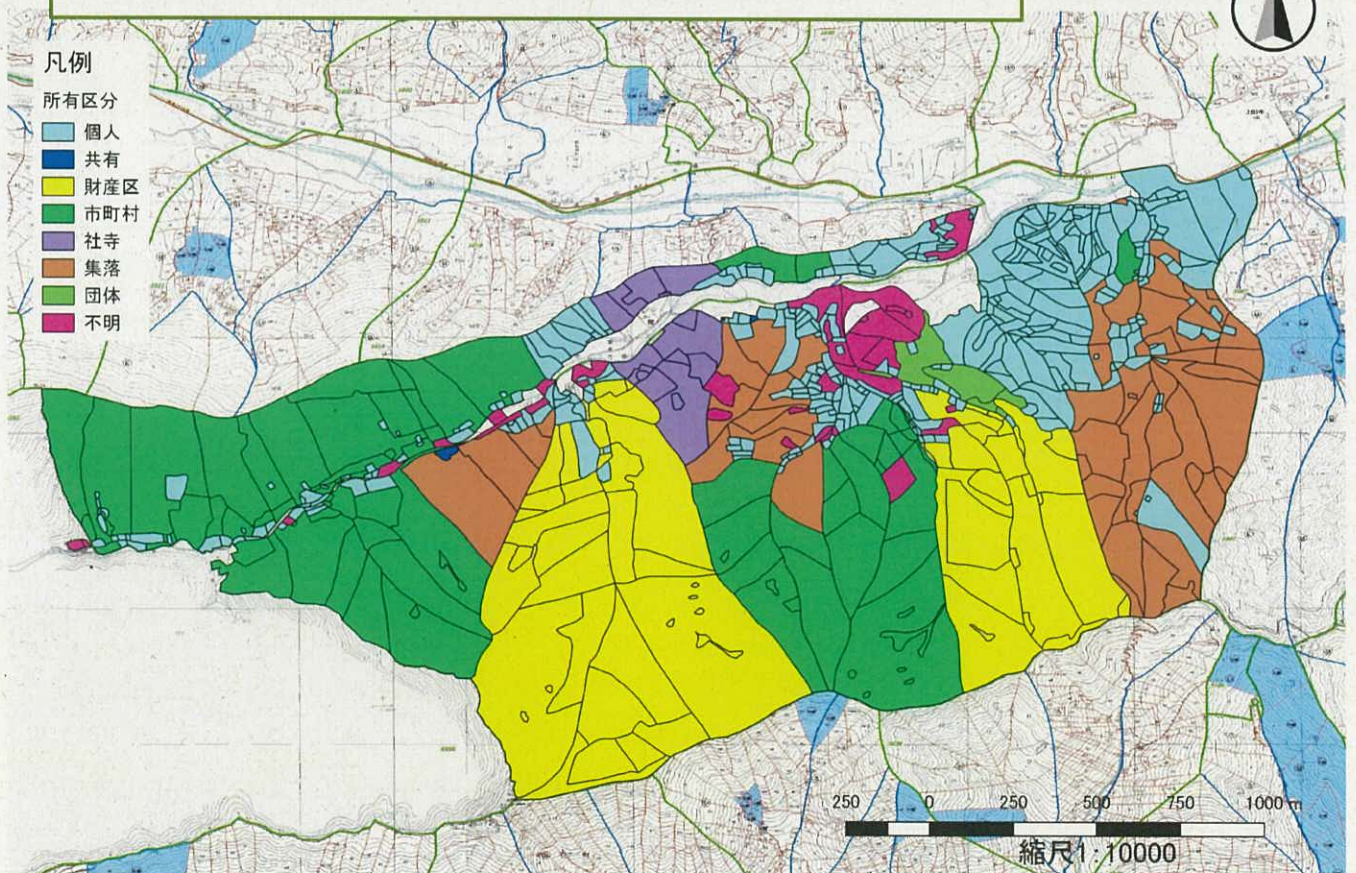
認定

(知事→市町村)

地域名及び位置	上田市霊泉寺温泉 上田市丸子平井区
中心となる集落名	平井区 (霊泉寺温泉地域、宮沢地域)
区域森林面積	489.98ha
自然環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 信州美ヶ原の北裾・三方を山に囲まれた文豪の武者小路実篤がこよなく愛し、静けさや風情がいまなお残る素朴で情趣にあふれた地域 ➤ 清らかな霊泉寺温泉川が流れ、夏休みは多くの親子が訪れ自然に親しんでいる ➤ 近年は豊かな自然を活用したネイチャートレッキングやマウンテンバイクで森林を駆け抜けるイベント等を開催し地元の住民はもとより多くの観光客の癒しの場としても活用
森林の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昔は、薪や炭、キノコの原木に利用した里山林 ➤ しかし、木材価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により、里山と人との絆が途切れ、放置されて手入れが遅れた森林 ➤ このような状況の中、地元有志で組織化された、霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトが中心となり、里山の整備や活用により、途切れかけた里山との絆の再構築が図られつつある

上田市 「霊泉寺温泉里山整備利用地域」 区域図

所有区分図





平成30年10月26日認定



現地調査



住民説明会

「霊泉寺温泉地域」の森林整備及び利用の方針等

➤ 豊かな自然に育まれた観光地としての魅力向上

静けさや風情がいまなお残る素朴で情趣にあふれた地域である当地域の魅力をもっと磨き上げるために、森林内を散策できるトレッキングコースの設置や障がいのある方や子供やお年寄りなどが水辺や森林の癒しに親しめるイベントを開催

➤ 里山の資源をフル活用

キノコや山菜はもとより、薪や炭・木材など地域の資源の活用の再構築を図り、地域内循環を図る。

➤ 里山整備の推進

個人有林を中心とした森林の整備を森林組合等の協力により進め、災害に強い森林の構築を図る。

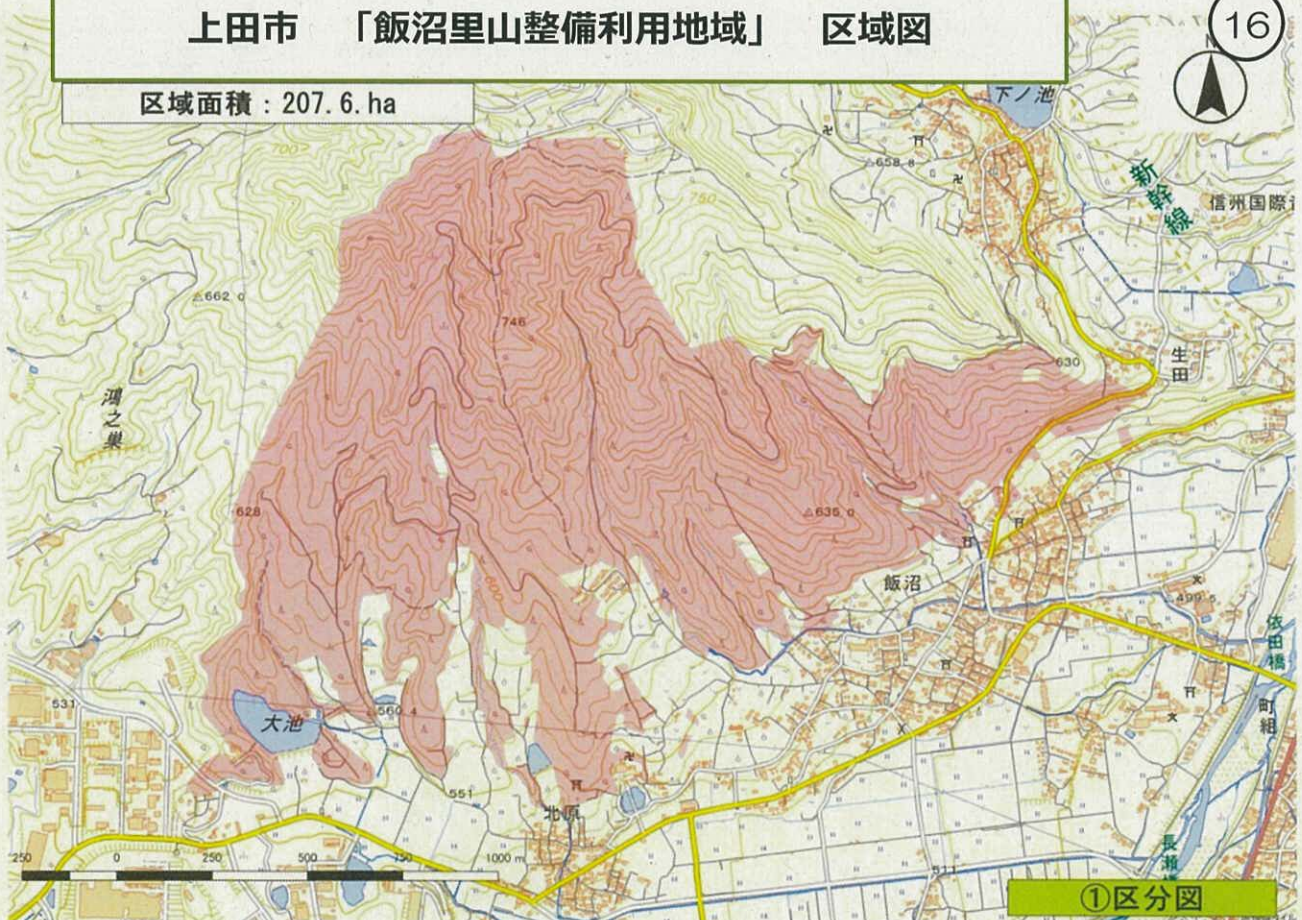


平成30年11月19日
「馬搬」研修会を開催

地域名及び位置	上田市生田「飯沼」
中心となる集落名	飯沼自治会
区域森林面積	207.6ha
自然環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 堤防沿いの桜並木で有名な依田川の東側に位置し、南側には田園、北側には、愛宕山から塩田地域の山裾の集落 ▶ 森林の斜面は比較的急峻で、かつては大雨等により度々洪水災害が発生しましたが、現在は砂防河川が整備され住民生活の安全は確保されている。
森林の状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 昔は、薪や炭、キノコの原木に利用した里山林 ▶ かつては県内でも有数のマツタケの産地 ▶ しかし、木材価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により、里山と人との絆が途切れ、放置されて手入れが遅れた森林 ▶ このような状況の中、地元有志で組織化された、里山環境整備プロジェクトチームが中心となり、里山の整備や活用により、途切れかけた里山との絆の再構築が図られつつある

上田市 「飯沼里山整備利用地域」 区域図

区域面積：207.6 ha





平成30年10月26日認定



飯沼自治会 「里山環境整備プロジェクトチーム」 の活動報告

飯沼自治会の北側に位置する私有林と飯沼神社林『里山』は、地区住民の日常生活の中で、手入れがされ守られてきましたが、近年の生活の変化により住民が里山に入らなくなったことに加え、急激な松くい虫被害の拡大により、里山の荒廃が進んでいます。

このまま放置するとますます荒廃が進み、本来里山が持つ水源や防災としての森林機能まで崩壊してしまうことが心配されるため、飯沼自治会では『古里の環境は自ら守る』との思いから、『里山環境整備プロジェクトチーム』を立ち上げ活動を始め、森林税を活用した取り組みのため、平成30年10月26日付けで『飯沼地区里山整備利用地域』として長野県知事の認定を受けました。

今後は、森林税を活用した取り組みをさらに進めていきます。



「飯沼地域」の森林整備及び利用の方針等

18

➤ 防災・減災に向けた里山整備の推進

飯沼神社林や私有林を中心とした森林整備を森林組合等の協力により進め、災害に強い森林の構築を図ります。

➤ 豊かな自然に育つ里山の資源をフル活用

キノコや山菜はもとより、薪や炭・木材など地域の資源の活用の再構築を図り、地域内循環を図る。

➤ 住民が集う、憩い ・癒しの場づくり

遊歩道や展望台、里山体験の場等を整備し、サクラ等の花木や紅葉樹、山野草を植栽して、散策や野鳥観察など、住民と絆の深まる里山づくりを進めます。

① 平成29年集中豪雨により埋塞



② 土砂撤去後【設置個所の寸法計測】



④ 完成



③ 作業中（丸太は現地の間伐材を再利用）



第23回 木と緑のフォーラム in 信州うえだ
平成31年2月7日(木) 上田市文化センター

「5つの事例から学ぶ
これからの里山の利活用術」

コーディネーター

上田女子短期大学 上原貴夫教授

- ① 里山の観光利用
霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
- ② 森林環境教育での活用
NPO法人 やまぼうし自然学校
- ③ 薪などのバイオマス利活用
西箕輪薪の会
- ④ 産学連携した里山の利活用
長野大学環境ツーリズム学部
- ⑤ 竹林の利活用
天竜川鷺流峡復活プロジェクト



防災・減災に向けた森林整備研修会
平成31年2月26日(火) 上小森林センター

- ① 先進地視察報告 ~兵庫県 の県民緑税の取組み~
防災・減災検討チーム
- ② 技術講座 ~異常樹形の教え~
流域保全技術研究所 清水宏氏
- ③ 現地研修 ~飯沼自治会の取組みほか~
飯沼里山整備利用地域内



みんなで支える里山整備事業

① 防災・減災のための里山整備

平成31年2月作成の里山整備方針に基づき、集約化が順次進められており、平成31年4月までに**22.66ha**（上田市13.19ha、長和町9.47ha）の間伐が実施されました。



① 上田市武石 保代地区 (遠景)



① 長和町大門 小茂谷地区 (林内)

② 県民協働による里山整備・利用

平成30年10月に認定された上田市の飯沼里山整備利用地域において、倒木等の除去も含めた修景林間整備が令和元年5月までに**7.91ha**実施されました。





② 上田市 飯沼地区 (整備前)



② 上田市 飯沼地区 (整備後)

里山整備利用地域認定状況

平成31年3月19日に下記2地域が認定され、上田地域での認定地域は4地域になりました。

地域名等	青木村「村松西」95ha	上田市「鹿教湯温泉」673ha
地域全景		
取組方針	オオムラサキの育成地として、榎の生育環境の整備や、青木村小の児童とともに、成虫の餌となるドングリの木を育てる「ドングリプロジェクト」が始まっており、こうした取組を加速させるとともに、地域が主体的に取り組む里山の整備や森林資源の薪への利用をより一層推進する。	平成24年に「鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト」が結成され、鹿教湯温泉と地域の発展のための環境整備への取組が始まっており、今後は、里山の多様な利用を進めるための里山における遊歩道の整備や森林資源を活用した公共サインの設置などの環境整備を行い、温泉と里山を組み合わせた「健康の里」づくりへの取組をより一層推進する。

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

23

社会福祉法人 海野保育園 (東御市)

園庭側の庇(ひさし)の増築



補助対象事業費 3,618,000円
森林税補助金額 1,809,000円 (1/2補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

24

NPO法人 おもいやり乙女平 (東御市)

放課後児童クラブ・おひさまこども園の内外装木質化



補助対象事業費 2,420,000円
森林税補助金額 1,210,000円 (1/2補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

25

上田市 中央子育て支援センターほか11施設

木のおもちゃの設置 13種類・60個



補助対象事業費 491,768円
 森林税補助金額 365,472円 (3/4以内補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
木工体験活動支援事業

26

(公財) 身体教育医学研究所 (東御市)

県産材を用いた椅子・スプーン・箸づくり



補助対象事業費 343,712円
 森林税補助金額 250,000円
 (3/4以内補助)



森林税を活用した河畔林整備事業

上田建設事務所

【事業概要】 河畔林において倒木や細く倒れやすい木の伐採を行い、洪水で流れ出る木を減らし、水害を防止・軽減します。

【事業箇所】

(一)傍陽川 上田市 傍陽

【位置図】 実施箇所



【地域の声】

- ・山林の手入れが十分にできないなかで、河川の周辺を森林税で木を伐採することは地域の安全につながる。(土地所有者)
- ・河畔林整備事業について知らなかった。いい事業なので施工範囲を拡大して実施してもらいたい。(地元役員)

【整備効果】



観光地等魅力向上森林景観整備事業

長和町 笠取峠 (周辺)

枯損木伐採処理 22本

(国道沿い)



(旧中山道沿い)



補助対象事業費

357,000円

森林税補助金額

292,000円
(9/10以内)

平成 30 年度森林づくり推進支援金の実施状況

(単位：千円)

市町村名	事業名	事業内容	事業成果等	事業費	負担内訳	
					支援金	その他
上田市	松くい虫被害木処理事業	松くい虫被害木伐倒駆除等 217本	松くい虫被害拡大防止 倒木による事故等の防止	3,977	3,927	50
東御市	松くい虫対策事業	松くい虫被害木伐倒くん蒸処理 45m3	松くい虫被害拡大防止	1,015	973	42
長和町	松くい虫枯損木処理事業	松くい虫枯損木特殊伐採等処理 11本	倒木被害の未然防止	663	469	194
2市1町	みんなの暮らしを守る森林づくり	3件		5,655	5,369	286
上田市	地域産材活用事業	木製ベンチ設置 9基	県産材の有効活用と普及啓発	645	603	42
青木村	間伐材利用普及事業	木製ベンチ設置 8台 木製パネル設置 2台	間伐材利用のPR	881	827	54
1市1町	木を活かした力強い産業づくり	2件		1,526	1,430	96
長和町	古町有坂山公園整備事業	伐採地拵 1式	森林づくりの普及啓発及び森林の観光利用	879	806	73
1町	森林を支える豊かな地域づくり	1件		879	806	73
計 4市町村		6件		8,060	7,605	455

※ 各事業の詳細は、平成 30 年度森林づくり推進支援金事業総括書のとおり

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害木処理事業
事業費 3,977 千円 (うち支援金: 3,927 千円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市では守るべき松林を絞り込み、伐倒くん蒸等で松くい虫被害の対策を行っているが、補助対象区域外でも松くい虫被害は発生しており、放置しておくとするべき松林への被害の拡大を招く恐れがある。また、道路、建物、墓地等の構造物周辺への発生も多く、対応に苦慮しているところである。

(2) 本事業の目的

補助対象区域外で発生している松くい虫被害木のうち、守るべき松林への被害拡大防止のための伐倒処理等や、倒木時に構造物等に被害が出る可能性がある松くい虫被害木の伐倒処理等を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田市一円

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 伐倒駆除等

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~34 年度)

平成 34 年度までに 755 本の松くい虫被害木の伐倒駆除等。

②平成 30 年度実績

松くい虫被害木 217 本の伐倒駆除等。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

守るべき松林への被害拡大の防止、松くい虫被害木の倒木による事故等の防止。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

例年実施している事業であり、松くい虫被害の対策として継続的に行っていく必要がある。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

住民要望に基づいて実施する事業のため、普及性は担保されている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

本年度は217本の伐倒駆除等を行い、平成34年度までの目標本数に対する年間事業量を上回ることができ、松くい虫被害拡大や倒木等による事故を未然に防ぐことができた。

(2) 課題

森林づくり推進支援金が縮小となったことに伴う事業量の確保。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

平成31年度以降も、松くい虫被害の拡大により事業量の増加が見込まれるため、当支援金を活用していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	上田市
------	-----

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い産業づくり	地域産材活用事業
事業費 645 千円 (うち支援金: 603 千円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市は 5,900ha 余りの山林所有者であり、市有林整備については毎年計画的に森林整備を進めているが、私有林については適切な森林整備が実施できていない状況にある。

(2) 本事業の目的

県産材を利用した木製ベンチを市施設に設置し、市民等に対して県産材の普及、啓発を行う事で森林の有する多面的機能の周知や、森林施業への意欲を持ってもらう。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ等

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 木製ベンチの設置

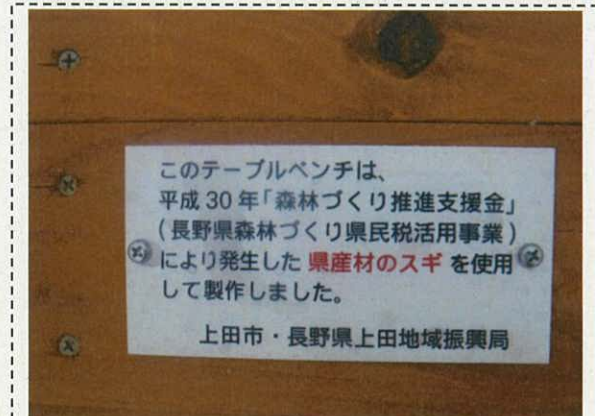
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~34 年度)

平成 34 年度までに木製ベンチ 30 基の設置。

②平成 30 年度実績

木製ベンチ 9 基の設置。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

県産材を利用した木製ベンチと解説パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図ることができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

多くの住民が訪れる市施設に設置することで、継続的に県産材に触れてもらい、事業効果が得られる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

木製ベンチを設置することで、老若男女問わず利用することができ、普及効果は大きい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

平成34年度までの目標に対し今年度は9基のベンチを設置し、県産材の有効活用及び普及啓発を図ることができた。

(2) 課題

設置した木製ベンチの維持管理についての検討が必要。また、9基の設置台数に対して24基の要望があり、設置台数を増やすことも検討したい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

要望を頂いていてもまだ設置できていない箇所があり、来年度からも継続していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村
名

東御市

No.	事業項目	事業名
	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫対策事業
事業費 1,015,200円 (うち支援金:973,000円)		

事業目的

- (1) 地域の森林・林業の現状と課題
松くい虫による被害が拡大の一途をたどる中、松林健全化推進事業の補助対象外の場所においても被害木が増加している状況である。
- (2) 本事業の目的
松林健全化推進事業の補助対象外の場所での伐倒くん蒸を行う。

事業内容

- (1) 実施場所
東御市八重原地区但し、松林健全化推進事業の補助対象外地区
- (2) 対象者
一般市民
- (3) 実施方法
事業方法: 指名競争入札による委託
事業量 : 松くい虫被害木の伐倒くん蒸処理 延べ材積 35 m³
- (4) 事業目標及び当年事業量
- ①平成30年度で松くい虫被害木の伐倒くん蒸処理を終了し、平成31から34年度については、景観維持のため樹幹注入を毎年約 40 本の樹幹注入を行っていく。
- ②平成 30 年度計画(実績)
松くい虫被害木の伐倒くん蒸処理 延べ材積 35 m³



作業前



作業後

事業効果

(1) 事業実施による効果

松林健全化推進事業の補助対象外の被害木を処理することにより、被害の拡大を防止する。

(2) 継続性

継続して事業を行う事で、松くい虫被害の減少を図る。

(3) 普及性

被害木を処理することにより、松くい虫被害地域の減少を図る。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果状況

東御市八重原地区但し、松林健全化推進事業の補助対象外地区の松くい虫被害木のはできる限りの処理を実施しました。

(2) 課題

当該地では、感染拡大が予想されます。景観の保持の為に今後も、早い段階で松くい虫被害防除等の早い事業展開が必要です。

(3) 今後の取組方向

■事業内容を見直して継続する

平成31から34年度については、景観維持のため樹幹注入を毎年約40本の樹幹注入を行っていく。

□事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	長和町
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	古町有坂山公園整備事業
事業費 879,120 円 (うち支援金: 806,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

古町有坂山公園は、マルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、アカマツ、広葉樹が主体となっているものの、近年整備が行われていない、

(2) 本事業の目的

この公園の択伐、下草刈りを行い整備し、長和町における全町桜運動において、山桜を植栽し自然保護と景観の保全を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 長和町古町宮反(有坂山公園) 町有林

(2) 対象者 長和町

(3) 実施方法 町内林業事業者に委託

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~32 年度)

平成 30 年度 4 分の 1 (北東側) 約 5 ha (公園面積 16.9 ha)

平成 31 年度 4 分の 1 (南東側) 約 4 ha

平成 32 年度 2 分の 1 (西側) 約 8 ha

②平成 30 年度実績

除伐、間伐、地拵え 約 5 ha

事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

古町有坂山公園を整備することにより、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる

(2) 継続性

平成30～32年度にかけてマルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の周辺にある町有林の整備を計画している。

(3) 普及性

マルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上が見込まれる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

「マルメロ駅ながと」及び「長門温泉やすらぎの湯」で国道沿いの古町有坂山公園に桜を植樹することにより、道の駅周辺の新たな観光名所として桜の花見による集客増が見込まれる。

(2) 課題

植樹した桜の保全のため、病害虫や食害の防止等適切な維持管理をする必要がある

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

町有林を「桜公園」として維持するため、今後も植樹範囲を拡大しながら、周辺の下草刈り等整備により、桜の生長保存を図る。

平成30年度 森林づくり支援事業
有坂山公園整備桜植樹(長和町全町桜運動)



平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	長和町
------	-----

No.	事業項目	事業名
2	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫枯損木処理事業 (天神山公園)
事業費 196,020 円 (うち支援金 190,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

町内の松くい虫被害が深刻となっており、特に枯損木による建物や墓石の倒壊および道水路等ライフラインへの影響が懸念される。

(2) 本事業の目的

長久保地区の天神山つつじ祭りを 5 月 1 2 日に控え、つつじ公園来客者の安全保持と景観に配慮するため、松くい虫枯損木の伐倒処理を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 長久保天神山公園

(2) 対象者 長和町 長久保財産区有地

(3) 実施方法

長久保財産区有地の天神山公園にある、松くい虫被害枯損木 1 本を特殊伐採により伐倒処理。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～34 年度)

松くい虫被害木伐倒処理 5 本

②平成 30 年度実績

松くい虫被害木伐倒処理 1 本

事業効果

(1) 事業実施による効果

5月12日の天神山つつじ祭りを前に、松くい虫枯損木の伐倒処理を行い、つつじ見物者の安全保持と景観の美化を図ることができた。

(2) 継続性

天神山公園整備は、長久保財産区が継続しておこなっている。

今日まで、伐倒くん蒸等により、松くい虫被害木の処理をおこなってきた。

今回伐倒くん蒸の事業で実施できない松くい虫枯損木を伐倒処理の事業を行う。今後も財産区と共に継続し公園の整備を行っていく。

(3) 普及性

国道沿いにある天神山公園は、つつじ開花の時期になると、多くの来客がある。来客者の安全と景観の美化を図ることができる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

長久保地区財産区有地の天神山つつじ祭りを5月12日に控え、祭典来客者及び国道通行者の安全保持と景観に配慮するため、公園内の松くい虫完全枯損木の特殊伐倒処理を行い、倒木被害を未然に防止することができた。

(2) 課題

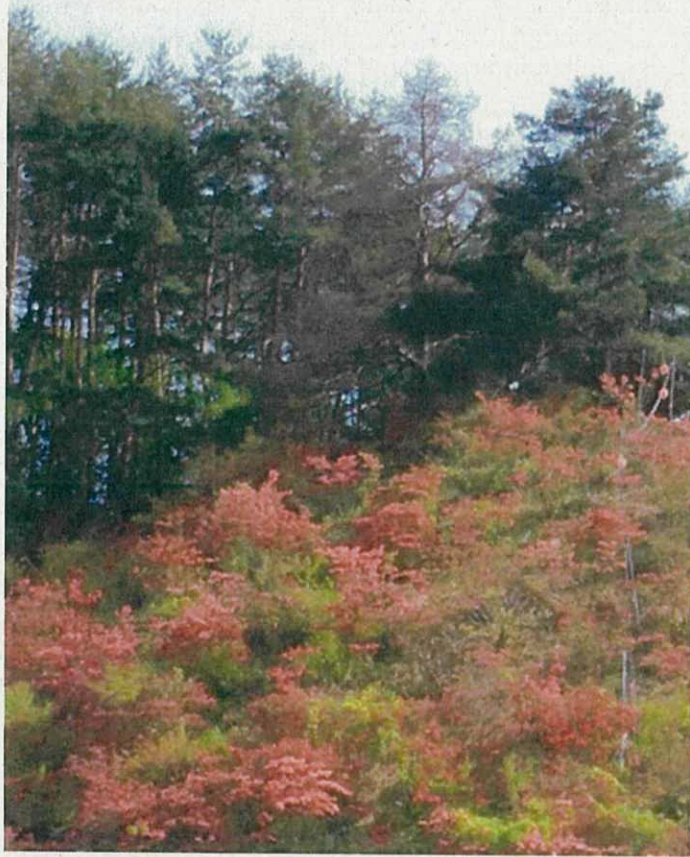
今後も枯損木発生の拡大が予想されるため、発生時の迅速な伐倒処理等の対応が必要である。

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

来客者および国道通行者の安全保持が図り、旧中仙道沿いにある公園の景観に保全するため、松くい被害木処理引き続き実施する。

長和町長久保天神山公園アカ松枯損木(平成30年4月26日)



平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
3	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫枯損木処理事業
467,208 円 (うち支援金 279,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

町内の松くい虫被害が深刻となっており、特に枯損木による建物や墓石への倒壊および道水路等ライフラインへの影響が懸念される。

(2) 本事業の目的

松くい虫の伐倒くん蒸処理補助事業の対象外である、道路沿い・住宅沿い・墓地等の危険箇所における松くい虫被害枯損木を倒木被害を防ぎ景観に配慮するため伐倒処理を行う。

事業内容

(1) 実施場所 長和町全域

(2) 対象者 長和町内施設及び町住民

(3) 実施方法

道路沿い・住宅沿い・墓地等の松くい虫被害枯損木の伐倒処理を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～)

長和町内の道路沿い・住宅沿い・墓地等の松くい虫被害枯損木の伐倒
処理 50 本

②平成 30 年度実績

松くい虫被害枯損木の伐倒処理 10 本

事業効果

(1) 事業実施による効果

町内の松くい虫枯損木の伐倒処理を行い、倒木による道路の通行者及び住宅等への被害を防止し景観の美化を図る。

(2) 継続性

今日まで、伐倒くん蒸の補助事業対象外の松くい虫被害木の処理をおこなってきた。

今後も伐倒くん蒸の事業で実施できない危険箇所松くい虫枯損木の伐倒処理事業を行っていく。

(3) 普及性

山林等の松くい虫被害枯損木を伐倒処理の事業は、枯損木の倒木による通行者、建物や墓石および道水路等ライフラインへの被害防止のため必要不可欠な事業である。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

松くい虫完全枯損木の特殊伐採等の処理により、町道を含むライフライン及び神社、家屋への倒木被害を未然に防止し、周辺環境整備を行うことができた。

(2) 課題

今後も枯損木発生の拡大が予想されるため、発生時の迅速な伐倒処理等の対応が必要である。

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

松くい虫枯損木の倒木被害を未然に防止するため、引き続き事業を実施する。

平成30年8月17日 古町五反田 北側五反田川を隔てた山林
松くい枯損木 1本 住宅への倒木のおそれがあり、尾美秀実さん及び

平成30年8月17日 伐採前



平成30年9月13日 伐採後



平成30年9月13日伐採 完了確認



平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	青木村
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	間伐材利用普及事業 (屋外用木製ベンチ、木製パネル購入)
事業費		881,500円 (うち支援金: 827,000円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村は、村の面積の約 8 割を森林が占めている。その森林整備については、なかなか進捗をみない状況であり、結果森林資源を活かしながら森林づくりを進めるという資源の循環利用の仕組みを確立できない状況である。

(2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

地域の木材を利用し、かつその旨を表示した木製品を、村内の公共施設等に設置し PR することにより、より一層の森林整備促進の意識の醸成を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 青木村内の公共施設等

(2) 対象者 青木村民、施設利用者

(3) 実施方法

地域の木材を利用し、かつその旨を表示した木製品を、村内の公共施設等に設置し PR する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~34 年度)

・木製ベンチ 40 台

・木製パネル 10 台

②平成 30 年度実績

・木製ベンチ 8 台

・木製パネル 2 台



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

道の駅あおき、リフレッシュパークあおきなど集客力のある施設に設置するのでPR効果が大きい。

(2) 継続性

毎年、原則通年営業の施設に設置するので継続性がある。

(3) 普及性

道の駅あおき、リフレッシュパークあおきなど集客力のある施設に設置するので普及性が高い。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

道の駅あおき、リフレッシュパークあおきなど集客力のある施設に設置するのでPR効果が大きい。

(2) 課題

屋外用木製ベンチについては、適正なメンテナンスを行っていきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き県産材利用促進のための事業を行う。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)